

東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトニュース

“黄色いハンカチ”

【発行者】

松戸・東北交流プロジェクト(代表:古宮保子)
〒271-0092 松戸市松戸 1834- 5 小川ビル 2 階
TEL: 047-710-5519 FAX: 047-710-5546
E-mail: yellowhandkerchief1834@gmail.com

松戸うたごえ喫茶から多額のご寄付を頂きました。



代表の金本光弘様・メンバーの方5人でご来訪されました。お昼をご一緒に、いたしました。頂きましたご寄附は大切に、皆様に分かりやすい使い方をさせて頂きます。ありがとうございました。

やはり、今回の大うたごえ喫茶のことに話題が集まりました。松戸佛教会さんが7回忌法要で参加して下さいましたことが好評だったと振り返りました。金本様から、次回の3.11大うたごえ喫茶の計画、今後の支援事業計画などのお話もあり、時間はあっという間に過ぎました。

松戸佛教会からご寄附を頂きました。

松戸佛教会会長五十嵐義秀様にご来訪されました。松戸佛教会・栄松寺・徳蔵院・医王寺からご寄附を頂きありがとうございました。

佛教は遠い存在と思ってきましたが、3.11以後、親しみのあるご縁となりました。

今後、松戸のお寺を訪ねるイベントも実現できそうです。季節のお花を愛でる楽しみ、写経、座禅など体験もあるとお話でした。

松戸うたごえ喫茶・松戸佛教会の皆さん
ありがとうございました。

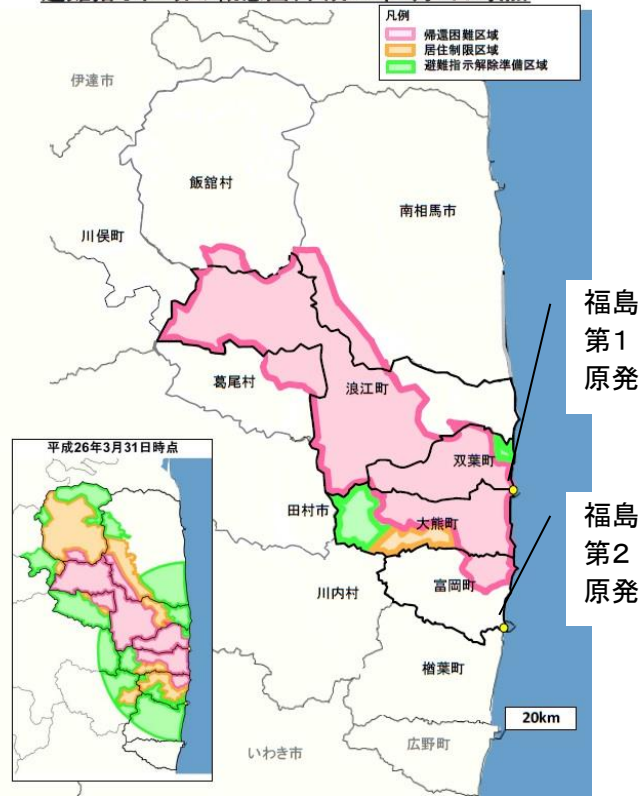
福島県の区域内避難指示解除 自主避難者への無償住宅終了について

東日本大震災から6年がたった現在、東京電力福島第一原発事故により避難指示が出されていた避難指示解除準備区域、居住制限区域は帰還困難区域を残し、2017年3月31日と4月1日(飯館村・浪江町・富岡町)に解除された(右図参照)。この地域の避難住民は約32000人。これまで除染が進んだとして段階的に避難解除をしてきましたが、昨年避難解除した楢葉町の帰還は10%にすぎません。

又、国の同意の上で2015年に既に決定されていた区域外自主避難者に対する無償住宅は今年3月末で終了、自己責任による自主避難と括られ理不尽な線引きをされ生命と健康な生活を守る為にやむをえず判断せざるを得なかった実情など区域内外にかかわらず住民の不安は拭いきれません。

松戸・東北交流プロジェクト 交流サロン「黄色いハンカチ」では震災当初より支援活動を行ってきましたが、自主避難者の住宅問題にも大きな課題として取り組み、解決には程遠いと思われる現状に対して今後も支援を継続して行く方針です。支援者の皆様の多大なご支援に感謝とともに今後とも宜しく申し上げます。

避難指示区域の概念図(平成29年4月1日時点)



避難者体験記

被災者の方に、3.11の貴重な体験を一人でも多くの皆さんに忘れないで知って語り継ぐことで今後も起こりうるであろう大災害に対してどんな心構えができるのか? 自分自身に問いかけて頂けたら幸いです。

田舎はあった方がいいんでしょ? ね! 福島の人たちは帰りたくても帰れない状況を考えると帰る気になれば帰れるのだから。

私はもう陸前高田に住むことはないと思っていたが、少しづつ復興していく姿をみて少々心が動いた。実を言うと新幹線で一関に着いて迎いのバスに乗るとき、ふと5年前がよぎった。お盆休みに娘や妹、甥、姪などがここで待ち合わせをして車で迎えに行った事を思い出したのです! もう田舎が無くなってしまった子供たちの事を考えると決断がつかない。田舎はあった方がいいんでしょ? ね!

昨年、岩手県の復興状況を見学するツアーに参加してきました。陸前高田市から大船渡市、釜石市、大槌町、山田町、宮古市をまわってきた。自治体によって盛土の高さも違うので状況は違うし復興住宅の間取りも工夫がみられるところが、記憶に残っているが被災当時他の自治体に住んでいた人が住むことはできない。

田舎が無くなってしまった子供たち

連載!
私はその時「しまった」
武田恒男 その3
(岩手県陸前高田市)

「除染作業は永遠に続く」

～仮設住宅取り壊し26日前訪問

原発の放射能は漏れ続けているため除染作業は永遠に続く。そんな除染に出す金があるのなら、住民を助けて欲しい！ 東電は誠意を持った対応をしてくれない。

原発の爆発が私達を苦しめ、そんな会社へ息子が毎日通っているが、息子の寿命は短いと思う。福島に残って働く父親と、健康のために他に移った母子の間での離婚率がとても多くなっている。福島の子供達の甲状腺がん発症は183人となった。発表される放射線量は本当かどうかかわからず、住民への健康被害は重大な問題だ。

松戸市 木村 仁美

「補償の格差」

国や東電の支援の仕方にしても、一部では在りえないようなお金の渡し方をしており言い方は乱暴かもしれないが、まるで人間としての尊厳を奪っている様に私の目には映る。私達は人間だ、お金で自分達の運命や生き方を支配されてはいけない。報道では一切取り上げていない補償の格差。デリケートな問題かもしれないが、先ず自主避難者の今迄の現状と、住宅支援の打ち切りについてだけでもきちんと報道して欲しいと願って止まない。

どんなにばらばらの状況に成ろうと、東北の方達はとても温かい。豊かな自然で培われたであろう心の温かさを私はここで守り、そして本当の意味での真実を今後も伝えて行けたらと思う。

松戸市民 川村 めぐみ

みんなの広場

避難者の「先の見えない不安」から少しでも気持ちが和らぎ、心が軽くなるように願いながら投稿のコーナーです。日々の暮らし感じた想い不安や不満を本音で書いていただきました。

被災地レポシリーズ 6

「心不全は放射能のせいではないか？」

16年11月21日、通っている教会所属のSさんが、借りているアパートで虚血性心不全の為、風呂場で召天された。東海大学原子力工学科を卒業し、神奈川県南林間の大きな教会の長老をしていたが、原発大手メーカーの日揮などで勤めた後、3.11を契機に福島支援の為引越して来た。チェルノブイリに行ったり、内閣府の参与としても加わった経験があるのに、福島ではあえて檜葉町などの指導で、現場に立っていた方だった。

74才で私より4つ年上だったが、召される前の週の礼拝まで一緒に、以前脳の疾患で倒れた事があるにもかかわらず、元気で大変物静かな方だった。だからその報告を聞いた会員の方々は大変驚いた。私はその死因となった心不全は、放射能のせいではないかと思っている。突然死であり、ネットで調べても、除染作業員で心不全になった人はわりに多くいるからだ。

いわき市 大山 晃平



園芸なんでも相談

■講師 守谷松次さん

3月の第1回目は春を代表する花、マーガレットやレンギョウなどの手入れの仕方や日当たりの悪い場所での園芸についてなど。

2回目は、バラとクレマチス。うどんこ病や害虫のアブラムシや、ハダニなどのからバラを守るための方法など、参加者からの質問にもわかりやすくお答えいただいています。毎回ご自宅からきれいなお花をお持ちいただき花の香りに満たされた園芸講座は大好評です。3回目は「あじさいと果樹」です。

ありさんマークの引越社のご支援

【お引越しのお手伝い】

思わぬご縁から3か月が過ぎました。この間に7人の避難者との出会いが生まれました。恐らく柏支店店長広さんのところにも直接お問い合わせが入っていることと思います。

1人の自主避難者と社員のお付き合いが、ここまで広がったこと、お二人に報告と感謝いたします。この提案を実現頂いた店長さんには、御礼と感謝申し上げます。ぜひサロンにお招きしたいと思います。

■アクセスマップ■

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」

松戸駅西口から徒歩5分(八百屋さんの隣のビル2F)



●毎週月～木 10時～16時オープン●利用1回100円

《松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」5月予定》

日時	内容	講師
2日(火) 13時30分	歌の日 みんなで楽しく歌いましょう。	市民ボランティア 前田 洋子さん
11日(木) 13時30分～	お茶の文化を楽しむ 歴史ある中国茶を楽しみましょう	市民ボランティア 友山 邦雄さん
16日(火) 13時30分～	手芸の日 かわいいネコグッズ作り	市民ボランティア 戸丸 栄子さん
17日(水) 13時30分～	園芸講座 あじさいと果樹のはなし	市民ボランティア 守谷 松次さん
24日(水) 13時30分～	初めての囲碁教室 一から教えます!	市民ボランティア 今田 靖雄さん
毎週金曜日	相談日(予約制) 法律、仕事、年金など専門家につなぎます。	相談員 古宮保子さん

※5月10日(水)はサロン都合によりお休みです。(囲碁教室もお休みです)

※5月23日(火)は14時でクローズします。